

安全・安心に住まう

兵庫県芦屋市の海岸沿いの埋め立て地。一戸建て住宅が次々と建てられている新興住宅地を抜けると、今年4月から販売を開始した分譲住宅地「ベルポート芦屋」に着いた。

埋め立て地の先端にあるこの住宅地は高さ約2枚のフェンスで囲まれている。外部からの入り口はたった一つゲートがあるだけ。日本初の「ゲートテッド・コミュニティ」(要塞都市)だ。一戸建て住宅約50区画が計画されている。

「カードキーがないと扉は開きません」と、分譲業者「ベルポートジャパン」(東京)の由井雅春さんが入り口にカードをかざすと、扉の錠が解除された。入り口にある管理棟には24時間警備員が常駐する。外来者はここで入居者の許可をもらわないと中に入れない。フェンスに有刺鉄線などは付けられていないが、フェンス上部に赤外線センサーとカメラが設置されている。設備を維持する

「城壁」に守られる街

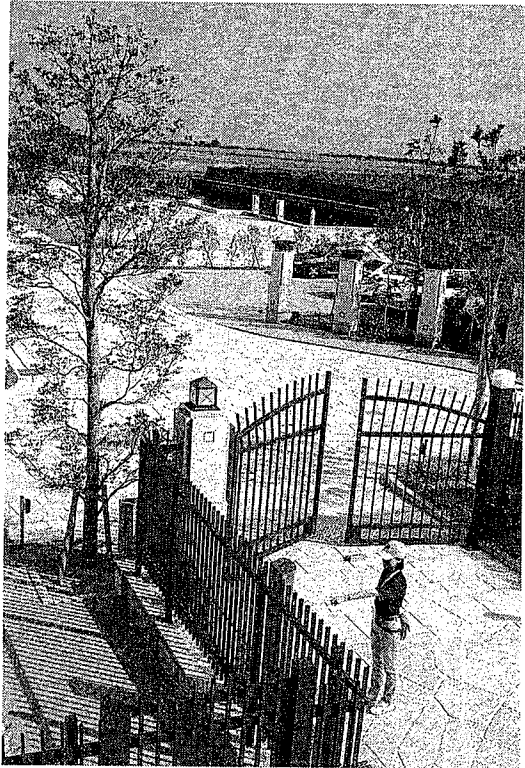
ため、1戸当たりの管理費は月5〜17万円になる。区画面積は約350〜1000平方メートル。分譲価格は9000万円〜3億円。第一期として販売中の13区画のうち、半数は売約済みだ。由井さんは「ある程度コストをかけてでも、安全で安心な住宅に住みたいという需要があるとみて提案して

警備員常駐する団地も

います」と話す。★★★茨城県日立市の一戸建て住宅団地「オーシャンビューライフ」(1060区画)は昨年5月、団地を24時間巡回する警備員の常駐拠点を設け、さらに団地の出入り口2か所や公園に監視カメラを設置した。

地を開発分譲している。新日鉄都市開発(東京)の「さくらが丘アイザック日吉」(川崎市)でも、団地内に警備員が常駐する拠点を設け、不審者や迷惑駐車などを監視するといふ。

★★★長谷工アーベスタ(東京)が今年1月に首都圏在住者約2700人を対象に行っ



犯罪や災害が相次ぎ、安全で安心できる住まいへの関心は年々高まっている。さまざまなアイデアを盛り込んだ住宅が次々登場しているのもその表れだ。住まいの安全・安心を実現するヒントを、最新の住宅事情から探った。

くらしの家庭

温泉地に滞在しながら、医師から温泉療養のコツなどを直接学ぶ「健康づくり大学」が今月からスタートする。中

操や運動療法を採り入れたウォーキングの時間帯もある。受講費は無料。

効果的な温泉の入浴方法を専門家が指導(昨年、強羅温泉で)

高年齢の健康づくりなどを目的に、公益法人と自治体などが進めているプラン。群馬・草津温泉を手始めに、来年春まで全国9市町村の温泉地で開催される。

なる受講できる。特に力を入れているのは同温泉旅館協同組合に加盟する14館などで

改善の入浴方法を専門家が指導(昨年、強羅温泉で)

宿泊料金は2食付きで5775円〜1万9050円。うち9館では、本人の健康状態に配慮し、カロリーを計算した食事を出すという。健康づくり大学は、この草津温泉を手始め

月から3か月間、神奈川県根町の強羅温泉でモデル事業として行われ、約6000人が専門医の助言をもとに浴、食事、運動を行った。その結果、痛みがなくなった「軽くなった」という回答が計3%、疲れが一な